

## 平成 21 年度 第 3 回 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会

### 議事録

- 1 日 時：平成 22 年 3 月 4 日（木）午前 10 時 30 分～11 時 50 分
- 2 会 場：北庁舎 3 階 第 3 会議室
- 3 出席者：(委 員)  
鈴木（眞）委員、石渡委員、鈴木（恂）委員、近藤委員、能勢委員、武市委員、山口委員、田口委員、島村委員、矢ヶ崎委員  
(事務局)  
鎌田部長、三ヶ尻次長（地域福祉推進課）、戸井田課長、市川主幹、田添主幹、村中主幹、加藤課長補佐（高齢者支援課）、横道主査(包括マネジメント)、青木主査（地域包括支援センター）、小塚主査（福祉相談）、柏木係長（給付指導係）、村越係長（介護保険係）、山田係長（介護認定係）、佐伯係長（事業係）、中野係長（在宅支援係）、鈴木主査（在宅支援係施設担当）、大野事務職員
- 4 欠席者：和気委員、角田委員、杉田委員、竹内委員
- 5 傍聴者：3 名
- 6 議事前の流れ
  - 1) 開会
  - 2) 資料確認
  - 3) 傍聴者の確認
- 7 議事内容  
進行役：鈴木（眞）副会長
  - (1) 指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定等に関する事項について  
【説明】事務局  
資 料 1 平成 22・23 年度地域密着型サービス事業者公募状況について
  - (2) 平成 22 年度高齢者福祉費・介護保険特別会計予算（案）概要について  
【説明】事務局  
資 料 2 平成 22 年度府中市高齢者福祉費予算（案）  
事務局  
資 料 3 平成 22 年度府中市介護保険特別会計予算（案）  
【質疑応答】  
「質問 A」  
○平成 22 年度高齢者福祉費予算（案）について、新規、レベルアップ、見直し等整理をして説明して欲しい  
「回答 A」  
○新規事業は、認知症対策で、2 つ事業を立ち上げている。ひとつは、認知症緊急ショート事業、もうひとつは、認知症の方の見守り支援事業。レベルアップに近い事業として災害時要援護者事業がある。  
「質問 A」  
○認知症の方の見守り支援事業についてももう少し詳しく説明して欲しい。  
「回答 A」  
○認知症の方の見守り支援事業は、府中市社会福祉協議会に事業委託を考えており、同協議会の有償ボランティアの制度を利用するものであるが、低所得者の方にも利用できる

よう市として支援をしていく予定である。

「質問A」

○見直しをした事業についてはどうか。

「回答A」

○介護相談員業務について、包括、在支に委託をしていたが、これを市直営に変える一方、認知症の相談対策、災害時要援護者にかかわる事業を委託する予定である。

「質問B」

○一番大きな予算減額になっている事業は、「養護老人ホーム」に関する事業のようだが。

「回答B」

○見直しではなく実績人数の減少による。

「質問B」

○養護老人ホームの施設機能は、主に、高齢者生活保護の方を対象にしているという歴史があるが、その中で、こうした措置施設の財源が減少傾向にあるようだが、本当に、現状を踏まえているものなのか。

「回答B」

○市としては、困っている方の施設入所に関する事情は認識しているため見直しは考えていない。

「質問C」

○介護とは未だ関係のない方についての予算計上はどうか。例えば、その地域で暮らしていくための住み替えのようなものはどうか。

「回答C」

○住宅施策の充実について、アパート暮らしの方の居住安定のため、社会福祉協議会に事業の委託をしているところである。また、低所得者高齢者向けとしてやすらぎ住宅の運営をしている。住宅施策については経費が多いため、当面はやすらぎ住宅の運用で対応していきたい。

「質問D」

○2月からダストボックスが廃止されたが、高齢者のごみの仕分けができない等混乱している状況がある。

「回答D」

○市の事業として、生活支援ヘルパー事業、後期高齢者の方向けのホームヘルパー事業で、高齢者の方のごみの仕分け、ごみだし等について可能な範囲で対応している。

「質問E」

○高齢者人口について、市全体の人口増加の割に、高齢化率が低いのは、流入してくる方が若い方が多いということなのか。

「回答E」

○マンションは（若い）ファミリー層、戸建は、3世帯で暮らしているといった事情によるものと考えられる。

「質問F」

○高齢化率の高い地域と低い地域について知りたい。

「回答F」

○平成22年4月1日現在で、高齢化率が高い町は、日鋼町の28.5%、北山町の28.5%、栄町の24.6%等となっている。高齢化率が低い町は、東芝町の5.3%となっている。

「質問G」

○第4期介護保険事業計画を策定してから、1年経過しようとしているが、計画の進捗状況について知りたい。

「回答G」

○介護保険給付の支払い状況は、計画値にたいして98%で、あまり余裕がない状況であるが、年度の進行に伴い、計画値も4.5%あげているため、今計画期間である3年間は賄えるものと考えている。

「質問H」

○府中市の予算における高齢者福祉費の割合について教えてほしい。

「回答H」

○全体の予算の中で、高齢者福祉費も含めた民生費の割合は44.6%でほぼ半分。このうち、民生費の中で高齢者福祉費が占める割合は18.6%となっている。

(3)「府中市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」策定のためのアンケート項目(案)について

【説明】事務局

資料4 府中市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画アンケート項目(案)

【質疑応答】

「意見I」

○認知症の方が、どこまで、いま住んでいる地域で住み続けられるか、大事なことであるので、市による啓発事業(対象年齢を問わない)を期待していきたい。

「意見J」

○アンケートの設問は分かり易く、シンプルで価値のあるものにして欲しい。

「意見K」

○主任ケアマネと医療との連携について、居宅介護支援事業者の考え方が反映されるような設問を作って欲しい。

主任ケアマネの役割を問うような設問があってもいいのではないかな。

「意見L」

○地域づくりということを視野にいれるのであれば、アンケートの対象を団塊の世代より若い方も含めて考えてはどうか。

「意見M」

○幅広い年齢の方を高齢者とひとくくりにしているが、高齢者の間でお互いに、(元気な高齢者が、要介護状態にある高齢者を)支えあえるような仕組み作りを問う設問が必要なのではないかな。

「意見N」

○世代間交流(高齢者と若い方)のあり方をどうするかといったことについてはどうか。

「意見O」

○府中市の介護予防事業を利用する方ばかりではなく、普段の生活の中で、介護予防を意識して暮らしている方向けの設問も必要ではないかな。

「意見P」

○リーダーを養成して地域で自主グループを作り活動する、あるいは、(稲城市のように)自分自身の活動を通して地域に貢献するといったようなことで介護保険料が安くなるといったことも検討してみてはどうか。

「回答P」

○その地域の実情に応じた仕組み作りというものが必要だと考えられる。それを踏まえて、それぞれの地域づくりということでは、新しい取り組みとして、府中市社会福祉協議会で「夢バンク」という登録制度を作っている。

(4) その他

(事務局) 次回の協議会は、6月下旬から7月中をめどに開催したい。

以上